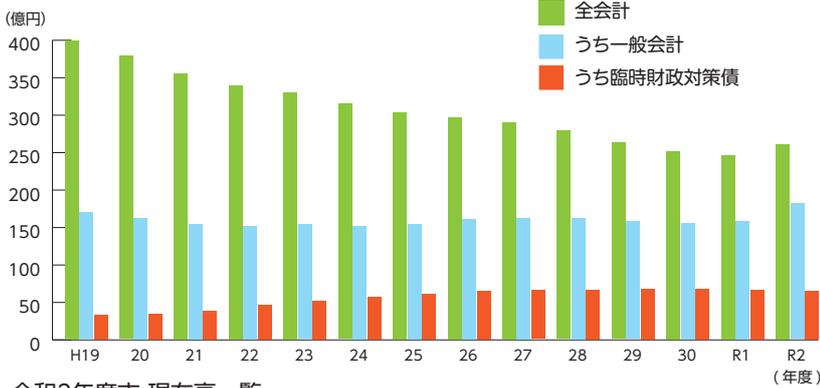


市債・債務負担行為の推移



本宮市の借金は？

— 計画を遵守し償還 —

左上図は合併以降の平成 19 年度からの借金（市債・債務負担行為の元利計）の推移を表したものです。

平成 19 年度に策定した本宮市自主的財政健全化計画に基づき、計画的な市債の発行と債務の償還により、平成 19 年度には 399 億円あった借金が、令和 2 年度には 138 億 8,428 万円に減少し、260 億 1,572 万円となりました。なお、令和 2 年度に令和元年東日本台風被害の災害復旧に係る市債を発行したため、残高が増加しています。

今後は、本宮市財政運営計画に基づき、適正な市債の発行、償還を行っていきます。

※地方交付税の代替措置である臨時財政対策債が、一般会計の市債のうち約 3～4 割を占めています。

令和2年度末 現在高一覧

項目	元金	利子	合計
会計			
地方債	244 億 2,441 万円	9 億 2,115 万円	253 億 4,556 万円
一般会計	176 億 4,384 万円	4 億 1,172 万円	180 億 5,556 万円
うち※臨時財政対策債	64 億 3,676 万円	1 億 3,163 万円	65 億 6,839 万円
水道事業	25 億 7,007 万円	2 億 5,677 万円	28 億 2,684 万円
公共下水道事業	42 億 1,050 万円	2 億 5,265 万円	44 億 6,315 万円
債務負担行為	6 億 7,417 万円	19 万円	6 億 7,436 万円
一般会計	2,313 万円	19 万円	2,332 万円
工業用地造成事業	6 億 5,104 万円	0 万円	6 億 5,104 万円
合計	250 億 9,858 万円	9 億 2,134 万円	260 億 1,992 万円

教えてまゆみちゃん！

臨時財政対策債ってなに？



① 臨時財政対策債とは  
国が交付する地方交付税の不足分を、市が代わりに借り入れる市債のこと

② 本宮市の借金の臨時財政対策債って市の財政の負担にはなっているのかな？

③ 臨時財政対策債の返済分のお金は地方交付税でまかなわれているんだよ！

④ 市の財政の負担にはならないってことだね！安心！安心！

<p><b>実質赤字比率</b> (13.6%以上は財政が危ない)</p> <p>一般会計に赤字がどの程度あるかを表します</p> <p><b>該当なし</b></p>	<p><b>連結実績赤字比率</b> (18.6%以上は財政が危ない)</p> <p>一般会計と特別会計・公営企業会計のすべての会計の赤字がどれくらいあるかを表します</p> <p><b>該当なし</b></p>
<p><b>実質公債費比率</b> (25%以上は財政が危ない)</p> <p>市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済に充てた経費がどれくらいあるかを表します</p> <p>昨年度より <b>0.7ポイント</b> 下がり改善</p> <p><b>6.4%</b></p>	<p><b>将来負担比率</b> (350%以上は財政が危ない)</p> <p>市の財政運営に影響するすべての会計の借入金の返済、退職手当など将来に負担が見込まれる経費がどれくらいあるかを表します</p> <p>昨年度より <b>2.5ポイント</b> 下がり改善</p> <p><b>57.4%</b></p>

財政判断 4つの指標  
— 全て基準値を下回る！

【令和2年度末残高】

**市民1人当たり**  
**87万円**  
前年度81万円

市債残高 253億4,556万円  
債務負担行為残高 6億7,436万円

※ R3.3.31現在の住民基本台帳の人口 (30,058 人) で除して算出しました

260億1,992万円 (前年度244億7,825万円)

# 令和2年度決算報告

## 健全な財政運営を行いました



皆さんから納めていただいた税金がどのように使われたのかをお知らせします。

問 財務部 財政課 ☎ 24-5305

### 歳入総額

252億7,348万円

自主財源	繰入金・繰越金など 49億1,053万円 (19.4%)
	市税 44億8,858万円 (17.8%)
依存財源	国・県支出金 84億3,519万円 (33.4%)
	市債 32億7,880万円 (13.0%)
	地方交付税 31億1,464万円 (12.3%)
	地方譲与税など 10億4,574万円 (4.1%)

### 歳出総額

238億2,325万円

歳入歳出差引額 14億5,023万円
総務費 53億2,247万円 (22.3%)
民生費 44億616万円 (18.5%)
教育費 29億249万円 (12.2%)
衛生費 28億8,374万円 (12.1%)
農林水産業費 25億486万円 (10.5%)
土木費 16億1,842万円 (6.8%)
公債費 11億2,653万円 (4.7%)
議会費・労働費・商工費・消防費・災害復旧費 30億5,859万円 (12.8%)

## 一般会計

### — 9億7,850万円の黒字決算 —

令和2年度一般会計の決算額は、歳入総額が252億7,348万円、歳出総額が238億2,325万円で、歳入から歳出を差引いた収支は14億5,023万円の黒字となりました。ここから令和2年度へ繰り越した事業の財源4億7,173万円を差し引いた実質収支額は、9億7,850万円となり、黒字決算となっています。

予算の執行に当たっては、本宮市自主的財政健全化計画を遵守し、限られた財源の重点的・効率的な配分を行い、健全な財政運営に努めてきました。

費目	費目の内容	1人当たりの金額
総務費	一般管理費、徴税費、選挙費など市政を進めるために必要な経費	17万7,073円
民生費	高齢者福祉、保育所運営、生活保護費など福祉のための経費	14万6,589円
教育費	学校教育・社会教育のための経費	9万6,563円
衛生費	保健衛生、ごみ処理や生活環境を守るための経費	9万5,939円
農林水産業費	農業振興、林業振興などのための経費	8万3,334円
土木費	道路橋りょう、公園整備のための経費	5万3,843円
公債費	市が借りているお金の返済のための経費	3万7,479円
その他(商工費・消防費など)	商工、観光振興や消防団運営、防災対策などのための経費	10万1,756円

行政サービスを  
市民1人当たりに換算すると？

## 79万2,576円

※一般会計の歳出総額をR3.3.31現在の住民基本台帳の人口(30,058人)で除して算出しました



基金名	令和2年度末残高
財政調整基金	14億77万円
教育施設等整備事業基金	4億7,051万円
地域福祉基金	3億3,959万円
市営住宅等管理基金	4億1,425万円
本宮駅東西自由通路等整備基金	7,884万円
五百川駅前広場等整備基金	4,387万円
未来人材育成基金	2,000万円
減債基金	204万円
その他特定目的基金	5億3,378万円
合計	33億365万円

基金残高

災害や特定の事業などに向けた積立て

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	27億9,112万円	26億5,561万円
後期高齢者医療	3億1,792万円	3億1,600万円
介護保険	29億449万円	26億6,708万円
工業用地造成事業	5億9,423万円	5億9,401万円
工業用地資産運用事業	1億1,462万円	1億1,462万円

特別会計

企業会計

水道事業		下水道事業	
経常的な収支		経常的な収支	
収入	9億5,734万円	収入	8億6,227万円
支出	9億7,378万円	支出	7億5,738万円
投資的な収支		投資的な収支	
収入	3億2,310万円	収入	11億4,117万円
支出	5億4,388万円	支出	14億2,603万円

※端数処理の都合上、内訳および合計数などに差異が生じる場合があります